

今がんばっています

両津中学校

両津中学校は、東中・南中が統合して8年目を迎え、昨年度、令和幕開けに合わせ、教育目標を新たに「自律 躍動 協力」とし、新生両津中の一歩を踏み出しました。生徒の自律（自立）を促し、自己有用感（自尊心）を高める取り組みをすべての教育活動で意識し実践しています。

1 いじめ見逃しゼロ全員集会

中学校区4小学校の6年生と両津中全生徒が一同に会し、いじめを見逃さないための活動をしています。いじめにつながりそうな具体的な場面を示し、そのときの思いや行動について意見を出し合い、どうすればよいかを小グループで話し合い発表しました。

生徒会が中心になり、場面設定をし、写真とセリフを組み合わせた演出でリアル感を出すなど、自律を促す大事な小中連携事業の一つとなっています。

2 両中ポジティブ部

部活動でも委員会でもない「両中ポジティブ部!」があります。学校生活だけでなく、地域にも貢献する有志でボランティア活動をするのがポジティブ部です。

生徒会は「地域、仲間を大切に、信頼される学校」を目指しています。その方策として、生

徒会本部が呼びかけ、多くの生徒が参加しています。先日は中庭とグラウンド整備を行いました。次は地域に出るの活動を計画しています。

新型コロナウイルスの影響で多くの活動が制限されていますが、学年を超えた全校生徒の協力と心意気を感じます。生徒の主体性が躍動する姿となり、感動と元気を与えてくれます。



のぼり旗を掲げ活動する両中ポジティブ部

☎ 学校教育課 58-7351



世界遺産登録に向けて

鶴子銀山の調査内容と取り組みを紹介します

市では佐渡金銀山に関係する遺跡や建物、景観などの文化財の調査・整備事業を行っています。

今回は、鶴子銀山の調査内容と取り組みをご紹介します。

1 発掘調査

平成22年から平成25年にかけて、代官屋敷跡と鶴子荒町遺跡（鉱山労働者が住んでいた集落跡）の発掘調査を実施しました。

発掘調査により、建物跡や鉱石を選鉱するための施設跡、銀鉱石を製錬するための炉跡が確認されたほか、16世紀末から17世紀前半の陶磁器や製錬の際に出る不純物（鉱滓）などが出土しています。

2 坑道探査

鶴子銀山には鉱石を採掘するために掘られた坑道の入口が数多く残されています。

江戸時代の絵図に描かれた坑道と実際の坑道の形を比較した結果、当時の坑道がそのままの形で残されていることが分かりました。

3 解説・歩行者誘導サインの設置

来訪者に遺跡の内容を分かりやすく理解してもらうため、鶴子銀山公園や代官屋敷跡・鶴子荒町遺跡周辺に解説・歩行者誘導サインを設置しました。

今後も計画的にサインを設置していく予定です。



鶴子銀山公園に設置している解説サイン

☎ 世界遺産推進課 63-5136